



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1
電話：03-3541-5151（内線：5130）
担当者の所属・氏名 薬剤部 木城 美保

【研究責任者】

聖路加国際病院 薬剤部 木城 美保

入院患者さんの服薬指導等の効果の実態調査

1.研究の対象

2020年12月1日～2020年12月31日または2022年12月1日～2022年12月31日のいずれかの期間で当院に入院され、かつ、期間内に「特に安全管理が必要な医薬品」の処方があり、薬剤管理指導料の算定をされた方

2.研究の目的・方法

現在、特に安全管理が必要な医薬品を服用されている患者さんに対し、副作用の早期発見、重篤化防止のための継続的な服薬指導や薬学的管理を行うことが重要とされています。一方、特に安全管理が必要な医薬品が処方されているかの確認やこれらの医薬品に対する薬学的確認事項は、個々の薬剤師の判断によるところが大きく、指導・管理を行う薬剤師により差が生じる懸念があります。改変後の薬剤管理指導記録テンプレートでは、特に安全管理が必要な医薬品毎に確認事項のチェックボックスを設け、フリー記載を減らすことで、確認事項の統一を図っており、指導・管理を行う薬剤師によらず、画一的な管理ができるようになったのではないかと考えています。今回、聖路加国際病院の薬剤管理指導記録テンプレートの改変により、特に安全管理が必要な医薬品に対するカルテ記載および薬剤管理指導料算定の適切性に変化があるかを評価することを目的に研究を行います。

なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は当法人研究機関の長による実施許可後～2024年3月31日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》 薬剤師初診時記録、薬品名、処方歴、薬剤管理指導料点数 等

以下、特に安全管理が必要な医薬品の対象

- | | |
|-----------|------------------|
| ① 抗悪性腫瘍剤 | ⑦ テオフィリン製剤 |
| ② 免疫抑制剤 | ⑧ カリウム製剤(注射薬に限る) |
| ③ 不整脈用剤 | ⑨ 精神神経用剤 |
| ④ 抗てんかん剤 | ⑩ 糖尿病用剤 |
| ⑤ 血液凝固阻止剤 | ⑪ 膵臓ホルモン剤 |
| ⑥ ジギタリス製剤 | ⑫ 抗HIV薬 |